

## 平成27年度第1回 稲沢市地域公共交通会議 会議録

【日 時】平成27年10月6日（火）午前10時00分から正午まで

【場 所】稲沢市役所第1分庁舎 2階 第2・3会議室

【出席委員数】18名

【傍聴者数】4名

### 【議事次第】

1 あいさつ

日比野会長

2 議 事

協議事項1 会長・副会長の選出について

報告事項1 稲沢市コミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用状況等について

報告事項2 稲沢市コミュニティバスOD調査結果について

3 その他

・平成27年10月1日から、利用料金の割引対象を「身体障害者手帳」及び「知的障害者手帳」に加えて、「精神障害者保健福祉手帳」を所持する者にも拡大して適用することについて

・平成27年広報いなざわ8月号に掲載した、コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用啓発特集について

### 【議事内容】

2 議事

協議事項1 会長・副会長の選出について

- 稲沢市地域公共交通会議設置要綱（資料番号1）第6条第2項に基づき、互選の結果、嶋田委員を会長に、上田委員を副会長に、それぞれ選出。

報告事項1 稲沢市コミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用状況等について

- 平成27年3月25日開催 第26回稲沢市地域公共交通会議 資料番号第1号 「稲沢市コミュニティバス及びコミュニティタクシー利用状況等報告書【改訂版】」に基づき、前会議における報告書の改訂箇所について説明。
- 資料番号2に基づいて、『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』を変更し、新たに6路線7系統で運行した平成26年11月4日（火）から平成27年8月31日（月）までの期間におけるコミュニティバス及びタクシーの利用状況、及び同期間におけるコミュニティバス及びタクシーの利用者1人当たりにおける運行経費の市負担額を説明。

【主な意見】

- ・「平成27年3月25日開催 第26回稲沢市地域公共交通会議 資料番号第1号 稲沢市コミュニティバス及びコミュニティタクシー利用状況報告書【改訂版】」の10ページの25行目から26行目にかけて、「旧大里循環線で利用者数の多かった南大通線（区間：稲沢市役所から国府宮駅）を運行路線としていない」とあるが、あえて運行路線にしなかったのは何故か。

→ 南大通線における同区間の運行につきましては、旧運行路線では、乗車定員14名の祖父江・下津線と乗車定員9名の大里循環線の2路線が重複して運行していましたが、利用者数が多く、恒常的に定員超過が発生する状況でありましたので、同区間については、平成26年11月4日から名鉄バス株式会社との共同で、新たに「稲沢中央線」として正座席数27名、乗車定員55名の中型バス車両を導入し、幹線として運行することといたしました。

これにより、乗車定員14名と9名のワゴンタイプ車両で運行する大里循環線は、幹線に接続する支線として下津・大里東線と大里西線に分割し、同区間の運行を止めることとしたものであります。

- ・ コミュニティタクシー乗り場「子生和」、「治郎丸」は、利用がない。「子生和」、「治郎丸」は、小正市民センター地区にもかかわらず、小正市民センターにバス停留所がないため、バス停留所「長野」への接続を余儀

なくされている。

それでは、あまりにも使い勝手が悪いいため誰も使わない。

改めて、小正市民センターに停留所を設置できないか。

→ 平成26年11月4日の『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』変更は、「交通空白地帯の解消」が主眼とされておりましたが、同施設の付近には「国府宮駅」があるため交通空白地帯とはなっていないため、停留所の設置が見送られています。

また、同施設内へは停留所の設置ができないため、周辺道路への設置が必要となりますが、周辺道路は交通量も多く、バス車両が安全に停留する場所がありません。

周辺は、住宅密集地にもなっており、ほとんどが生活道路であることから、定期的なバス路線の運行は、交通事故の発生が懸念され、路線設定は困難と考えております。

- ・ 小正市民センター北側の道路には、企業のバスや観光バス車両が多く入ってくるので、北側道路への路線設定であれば可能ではないか。

→ コミュニティバスは定期運行の路線バスであります。そのことを前提に考慮し、バス車両が安全に停車できる場所があるかどうかと、交通事故の発生を懸念しているものであります。

→ 『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』変更から、まもなく1年が経過するところですが、今後におきましても、みなさまからの御意見を踏まえ、各種調査の結果を分析し、更なる利便性の向上に向けた見直しについて、本会議においてお諮りをしてまいります。

- ・ 「大里西線」は、旧「大里循環線」が分割された路線であります。利用の多かった南大通線（区間：稲沢市役所から国府宮駅）を運行路線としていないにも関わらず利用が減少しなかった大変重要な路線であると思います。

同路線が運行する大里西市民センター地区は、高齢化率が30%を超え、非常に高くなっている地域です。

高齢者が多くなると病院や買い物のアクセスとして、「稲沢市民病院」、  
「アクロスプラザ稲沢」へ利用が増えると思います。

そこで、コミュニティタクシー乗り場「中之庄」、「増田」へ、バス路  
線への延長が可能であるかどうか検討していただきますよう、今後の要  
望としてお願いします。

- ・ 1日あたりの利用者数は、詳細に分析し、記録されていますが、1便あ  
たりの利用者数が、まとめられていないため、今後整理していただきたい。

## 報告事項2 稲沢市コミュニティバスOD調査結果について

○ 資料番号3に基づき、平成27年5月25日(月)、27日(水)、29日  
(金)、6月1日(月)、2日(火)、4日(木)の6日間で実施した各路線  
のOD調査結果について説明。

- ・ 調査日時の天候がどうであったかが示されていない。  
 今後は、調査日時の天候についても報告書に掲載されたい。  
  
→ 何れの調査日時も晴天でした。今後は、報告書に天候についても掲載  
してまいります。
- ・ 「国府宮駅」と「稲沢市民病院」の区間は、各路線が重複する区間であ  
り、利用者数も多いが、路線によってかなりバラツキが目立つ。このバラ  
ツキは、運行ルートによるものでなく、運行時間帯によるものと思われる  
が、それで良いか。  
  
→ 同区間は、通勤や診療開始受付時間により、利用される時間帯に大き  
なバラツキがあります。御指摘のとおり、運行時間帯によるものと考え  
られます。
- ・ OD調査と一緒にを行うかどうかは別として、バスを利用されるかたへの  
要望調査を行う予定はないか。  
  
→ ワゴンタイプで運行した支線に関しては、OD調査の際に我々職員が  
同乗し、利用者から直接御意見をうかがっております。  
  
また、平成26年11月4日の計画変更の際にも行いましたが、これ

まで、見直しを行う際には、必ず利用者アンケート及び市民アンケート調査を実施してまいりました。

今後につきましても、これらの調査を実施するように計画をしてまいりたいと考えております。

- ・ コミュニティバスの利用者は、高齢者が多くなっていると思います。老人クラブを通じてアンケートを実施することを検討されてはどうか。

→ コミュニティバスに頼りたい高齢者が増加していくことを見据えまして、高齢者の要望を把握できるよう、検討してまいります。

- ・ 時刻表どおりの運行に基づいて、調査されていますか。

→ 時間帯によりまして、多少の遅延のあった時間帯もありますが、調査結果に支障をきたすような大きな遅延はございませんでした。

### 3 その他

- ・ 愛知県交通対策課から愛知障害フォーラムという障害者団体からの要望について紹介があり、内容は以下の2点。

(1) コミュニティバスへのノンステップ車両の導入

(2) 障害者が乗車した時の親切丁寧な乗務員の対応について、障害の当事者が参加できるような形式で研修会を開催して欲しい。

- ・ 前月に実施した、本会議全委員による書面による協議の結果を受け、平成27年10月1日から、利用料金の割引対象を「身体障害者手帳」及び「知的障害者手帳」に加えて、「精神障害者保健福祉手帳」を所持する者にも拡大して適用したことを報告。

・ 平成27年広報いなざわ8月号に、コミュニティバス、コミュニティタクシーの利用促進に向けた特集記事を掲載したことを報告

- ・ 次回の稲沢市地域公共交通会議の開催は未定であり、来年度に予定されている支所機能移転の時期をみながら、今後のスケジュールを作成していくことを報告。

以上で閉会した。